



# 感情やエネルギーを お届けするメッセンジャー

第44回のインタビューは

大好き大竹応援大使の

Yuriko Miyake (三宅由利子)

さんです。



## 自己紹介をお願いします

Yuriko Miyake(三宅)ゆりこ。大竹出身のニューヨーク在住で、肩書は「表現師」です。表現師って何ですか？とよく聞かれます(笑)。歌ったり、踊ったり、芝居したり、人前で表現することを生業としています。女優やダンサー、シンガー、それぞれの垣根を取っ払って、私は「表現師」と名乗っています。感情やエネルギーをお届けするメッセンジャーとでも申しましょうか。誇りをもっています。最近通訳をさせて頂く機会も増えています。

## 応援大使になるきっかけを教えてください

教えてください

大変ありがたいことに、市役所の方  
に直接お声がけ頂きました。大竹出身

ではあるものの、なにせ海外在住で8〜9割日本にいない自分に、ちゃんと務まるだろうか、とても心配になったのを覚えています。ですが、そんな私を快く迎え入れてくださり、感謝の気持ちで一杯です。海外にいる私だからこそできる何かを、只今絶賛模索中です！



殺陣演武：Photo by Masaki Hori

## 大竹市の思い出の場所や出来事をお聞かせください

私は、小さい頃より、大竹でジャズダンスを習っていたので、そのレッスンで通い続けた大竹市民会館やサントピア大竹、発表会で立ち続けた舞台のあるアゼリアホールが思い出の場所ですね。ダンスを通して、素晴らしい師に出逢い、仲間達と楽しく、時にはぶつかりながら友情や連帯感を深めたものです。悔しくて泣いた日も、楽しく笑い転げた日も、嬉しくて泣いた日も、全て人生の宝物が詰まった場所です。表現師人生の原点です。

## 応援大使として今後どのようにして大竹市を盛り上げたいですか？

大竹市を盛り上げたいですか？

一時帰国時に、毎回、玖波公民館さ

んがお声がけくださり、僭越ながら講演会を開催する機会を頂戴しています。私自身が構成・演出・振り付け・出演し、ニューヨークでの経験談を含めたコトでしか聞けない武勇伝をシェアしたり歌ったり踊ったりと、大竹の皆さんを思い浮かべながら、好きなようにアイデアを練りながら創っています。これはできる限り続けていきたいですね。皆さん、是非いらしてください！

## 今後の活動など大竹市民へメッセージをお願いします

一つ前の答えの続きになりますが、一時帰国の際は、大竹でも様々なイベントに呼んで頂けるように精進したいなと思っています。私にできる何かで、全力でエネルギーを飛ばしたいと願っています。世界中のどこかではいつも悲慘なことが起こり続けている世の中ですが、私達も私達の精一杯で生きて、楽しみながら目の前にあることができることを、できる限りやっていきましょう。また、皆さんに直接お会いできる日を楽しみにしています！



短編映画撮影現場：Photo by Kaisei Arai

## あとがき

いつも大竹市議会だよりを見ていただきありがとうございます。

読者の皆さまから議会だよりへのご提案、ご指摘などをアンケートでいただいております。2次元バーコードを読み取っていただきスマートフォンから気軽に送れるようになっていきます。送っていただいた方へは大変感謝しています。

皆さまからいただいたアンケートは、広報広聴特別委員会委員に共有されます。私自身、この瞬間のワクワクドキドキ感がたまりません。時には厳しい言葉もいただきますが、議会だより改善へのヒントが詰まっています。それをもとに委員が話し合う姿は真剣勝負そのものです。

これからの議会だよりをもっともつとよりよいものにしていきたいと思いますので、皆さまからの意見、ご提案などお待ちしております。(アンケートへのアクセスは、7ページに記載あり。)

豊川 和也

## 広報広聴特別委員



委員長 藤川 和弘  
副委員長 中川 智之  
委員 中野 友博  
委員 豊川 和也  
委員 山代 英資

出 哲 義  
末 天 佑

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

